



えびす祭り 今年も笑顔で盛りあがるぞ～ (ざっくばらんの皆さん)

あかわ *Sakawa* 議会だより

61 2015.2.1

発行 高知県佐川町議会

12月定例会

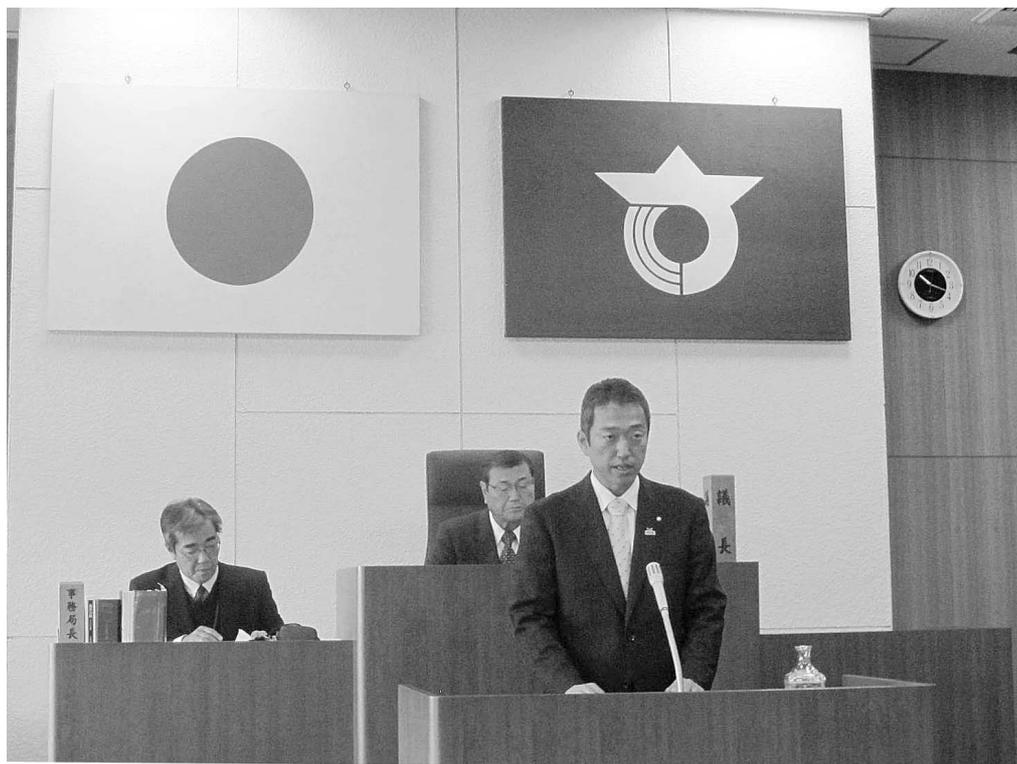
contents 目次



佐川を支える若い力 (H27 成人式)

12月補正予算ピックアップ	3
一般質問 7人が問う	5
勝森山視察報告	12
あれはどうなったか (町有住宅地販売)	13

12月定例会で決まりました



平成26年度12月補正予算

(単位：円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	3,280万	63億2,846万
国民健康保険特別会計	8万	19億1,332万
介護保険特別会計	124万	17億7,218万
後期高齢者医療特別会計	280万	2億1,968万

12月定例会は、12月5日から11日までの会期中に開かれました。
平成26年度補正予算をはじめ、条例改正など議案15件、承認案1件、諮問案1件を審議し、採決の結果、賛成全員及び賛成多数で全件可決しました。

条例改正・制定

佐川町一般職員の勤め手当等を改正

主なものは、高知県人事委員会の勧告を受け一般職員の勤め手当の算定基準となる割合を、0.1月分引き上げる。

佐川町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正

母子及び寡婦福祉法の改正に伴い、条例の一部を改正する。助成金額については、変更なし。

出産育児一時金の支給割合を改正

産科医療保障制度の見直しに伴い、国民健康保険における出産育児一時金のうち、一時金と加算額の割合を改正する。総支給額は同額となる。

越知幼稚園利用のための協定

子ども・子育て支援法において認定された子どもへの広域利用を可能とするため、法の規定に基づき越知町と協定を締結する。

特別職の期末手当増額

町長、副町長、教育長、議員の期末手当を0.05月分引き上げる。

第3次地方分権一括法の施行に伴い、市町村で基準を定めることになった条例の制定及び改正

佐川町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

佐川町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

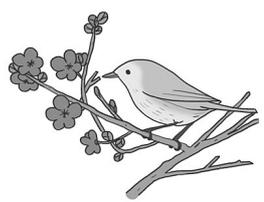
佐川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

佐川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

人事

人権擁護委員

横畠 安彦 氏
佐川町黒原3836番地3



**12月
補正予算
ピックアップ**



さくら荘送迎車両

**介護サービス施設
整備事業
373万円**
さくら荘の送迎用車両
を入れ替えるための費用。

**障害者自立支援事業
2600万円**

障害者の施設及びヘルパーの利用等、サービス量の増加による増額補正。

**保健衛生総務費
200万円**

災害時医療救護所（高北病院）に必要なテント、発電機、ストレッチャー等の備品購入費用。

**小学校耐震化事業
△1932万円**

学校非構造部材耐震化設計料が入札等により額が確定したことによる減額補正。



河川の被害状況

**農林水産業施設
災害復旧事業
1076万円**

台風11号、12号により被災した農道、用排水路等の復旧費用。

**公共土木施設
災害復旧事業
2100万円**

台風11号、12号により被災した町道、河川等の復旧費用。

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、議員から出された質問の主なものを紹介します。



森議員 越知幼稚園に通園している子供の数は健康福祉課長 17名が越知幼稚園を利用している。

坂本議員 子ども子育て新システムで保育所、幼稚園の利用料はどうなるか。保育所と幼稚園の利用料が不公平感のないような決定にしてほしい。健康福祉課長 町全体の少子化対策、子育て支援の中で今後検討していく。

各議員の意思表示

賛否表(平成26年12月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村純正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	今橋寿子	徳弘初男	藤原健祐
専決処分の承認を求めることについて(平成26年度一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成26年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成26年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
越知町立越知幼稚園を本町住民の使用に供させることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-
議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



越知幼稚園

永田議員 選挙用ポスターの掲示板契約で、業者に対してどのような要件が出されていたのか。材質が固くピンが立ちにくい。問題があるので。

総務課長 ポスター掲示板の購入については仕様書を作り、ポリプロピレンNSボードと同等品以上の軽量、合成を有する品質で見積もりを取っている。

7人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

指定避難所の公民館 バリアフリー化を

町長 前向きに検討を進めたい

町民から、町の指定避難所となっている公民館に、スロープと手すりを付けてもらえないかという相談を受けた。

指定避難所のバリアフリー化は、国や県もその方向が望ましいとの考えを示している。本町においても、指定避難場所となっている公民館のバリアフリー化に取り組むべきだ。

堀見町長 なかなか一遍にすべという取り組みはできないが、町の姿勢としては、公民館を指定避難所として、しっかりと使えるよう、前向きに検討を進めていきたい。



バリアフリー化された公民館は少ない

土曜授業 積極的取り組みを

教育長 学期1回を基本にしたい

平成25年11月に、学校教育法施行規則が改正され、設置者の判断により、土曜授業を行うことが可能になった。この法改正により、土曜授業を行う学校が増えてきている。

文教のまちとしての教育を作り上げていく上でも、本年よりもさらに拡充し、積極的に土曜教育に取り組んでほしい。

川井教育長 授業時数を確保するという観点から、本年度試行的に学期に1回、土曜授業を実施している。今は土曜日に多くのスポーツ関係の大会がある。

今後の基本的な考え方としては、小中合わせて現状の学期1回を基本にしたい。その上で、スポーツ大会の整理を踏まえて、どういった対応ができるか検討していきたい。



熱中症から子どもを守ろう！

熱中症対策・ミストシャワー 設置するべきだ

教育長 来年度予算で対応したい

熱中症対策として、ミストシャワーの設置が効果があるとして、全国の小中学校、幼稚園、保育園に広がっている。本町においても、来年に向けて、設置するべきではないか。

川井教育長 熱中症予防対策として、経費的にも安価で効果が期待できるミストシャワーの設置について、来年度予算での対応を検討したい。

岡崎健康福祉課長 町立保育園の2園については、対応したい。私立保育園については、各園の判断になるが、一緒にやらないか、この呼びかけを試してみたい。



坂本 玲子 議員

子どもたちに生きる力をつける教育を

教育長 充実していききたい

全国統一学力テストでは、点数を上げることだけに躍起になるなど、さまざまな弊害があるといわれている。町では学力をどう捉え、教育をどう行っているのか。本来の教育は、生きる力や自己



楽しい授業で子どもいきいき!
(佐川小学校)

肯定感を育むことが大切だと思っどうか。
また学力と経済力には
相関関係がある。町として
どう支援していくの
か。

川井教育長 知、徳、体を
バランスよく取り組む
中での学力向上対策が大
切である。子どもたちの
一人一人に応じた指導の
充実のため、支援員を配
置している。積極的に行
める教育も実施してい
る。その結果、本町では
自己肯定感は全国平均よ
りも上回っている。
堀見町長 就学支援や奨
学金の制度がある。この
制度の周知を図り、町と
して支援をしていきた
い。

教員が子どもに向き 合える時間の保障を

教育長 改善していく

ユネスコの教員の地位
に関する勧告では、教員
への監督・指導は教員の
自由、創造性、責任感を
損なうものであってはな
らないとされている。

また教員の過重労働が
日常化している。教員は
授業の準備をきちんと
し、子どもたちと向き合
うことが必要だ。教員の
労働実態について調査
し、改善を望む。

川井教育長 教員の多忙
化解消を図る必要があ
る。教員の教材研究や、
子どもたち一人ひとりに
向き合う時間を確保する
ことは非常に重要なこと
だ。学校において改善可
能なことはやっていく。
学校だけで解決できない
ことについては、県教委
や国に要望活動をしてい
く。

介護保険改正で 要支援はどうなる？

健康福祉課長

支援していく

介護保険が改正され、
要支援の人の訪問介護と
通所介護が市町村の事業
に移行される。町民の中
には不安が広がってい
る。本町ではどう対応す
るのか。

また利用料はどうなる
か。基本チェックリスト
で要介護認定の審査を省
略することはないか。
岡崎健康福祉課長 今第
6期の事業計画を検討し

ている。サービスが必要
な方が、今のサービスを
受けられなくなることは
ない。

利用料については今の
利用料金と乖離があるとい
けないと考える。基本
チェックリストは専門的
に判断できる職員が聞き
取る。それで明らかに必
要がないと判断した場合
には、百歳体操などの支
援につなげていく。



老後は、安心して過ごしたい!
(斗賀野荘)



森 正彦 議員

平成27年度予算 編成方針と重点施策は

町長 挑戦する予算編成をする

堀見町長は就任して1年が経過した。平成27年度予算編成方針に町長自身の思いも表れるのではないかと思う。その予算編成方針と重点施策を聞く。

堀見町長 住民の幸せのために事業を行うことを基本理念とし、人が生き生きと輝く町をつくる。平成27年度は第5次総合計画のまちづくりに向けて、職員が一致団結して、挑戦する予算編成を行う。

- ① 文教のまちの人づくり
- ② 総合計画策定③ 小さな拠点としてのあつたかふれあいセンター・集落活動センターの取り組み
- ④ 移住促進⑤ 子育て支援
- ⑥ 産業振興として農業・自伐型林業の推進を重点施策とする。

第5次総合計画の 進捗状況と今後の計画は

チーム佐川推進課長 2月に「しあわせ会議」を実施する

第5次総合計画の現在の進捗状況はどうか。また今後の計画は。片岡チーム佐川推進課長 町民アンケートの結果と10年間の振り返りによる課題抽出を受け、10年後の未来を描くワークショップを実施した。地域で頑張っている人にインタビューを実施している。今後の計画は、平成27年2月に「しあわせ会議」を実施する。5月ごろには分野別、地区別等でワークショップを開催し意見やアイデアを計画に反映する。平成27年12月ごろには大筋の計画が固まると考える。

佐川町では、これから10年後のまちづくりの設計図となる「総合計画」を策定中です。策定のテーマは「みんなで作る総合計画」。町民さんと一緒にアイデアを出しながら、これから10年間の計画をつくっています。そのスタートとして、佐川のしあわせな未来を考える「しあわせ会議」を開催します。楽しみながら、町の未来について、みんなで考えましょう。ご参加お待ちしております。

しあわせ会議

佐川のしあわせな未来について語り合う。

幸福学の第一人者
慶応義塾大学大学院
前野隆司 教授

佐川町 町長
堀見和道

2015.02.11 (祝水) 13:30-16:30 @桜座

プログラム

- 【13:30】 開会式(町長挨拶、式辞、町民代表挨拶、前野教授挨拶)
- 【13:40】 懇話会(前野教授の講話) 懇話会(町民代表の講話)
- 【14:00】 懇話会(町民代表の講話)
- 【14:10】 懇話会(町民代表の講話)
- 【14:20】 懇話会(町民代表の講話)
- 【14:30】 懇話会(町民代表の講話)

お問い合わせ先：【総務課 総務課長室】
http://shikano.jp/press/2015/02/01/20150201.html
TEL:0889-22-2742 FAX:0889-22-1119

まちづくりにあなたの意見を

自伐型林業は腰を据えて 取り組むべき

町長 産業として成り立つように取り組む



頑張れ！キコリンジャー

森林と林業の再生、自伐型林業の推進は重要で有望な産業であり、基本

的な計画を立てて腰を据えて取り組むべきだ。基本的な計画を立てること、人の育成についての考えを聞きたい。堀見町長 今年度から地域おこし協力隊員を入れた。土佐の森・救援隊や県外の林業家の指導を受け、人づくりをしている。将来的には隊員の中から佐川町の林業施策、森林計画を中心に担う人が育ってくればよいと思っている。県も平成27年度、林業大学を開設する予定であり、林業に携わる人づくり計画を考えていきたい。そして産業として成り立つように取り組みたい。

地区懇談会 職員の参加は

チーム佐川推進課長 **多くの参加を求めたい**

今橋 寿子 議員



佐川町総合計画策定に向けて開催された地区懇談会参加者数は、今までで延べ335人だ。その中で職員の参加は少ないと思う。この現状をどう受け止めるか。片岡チーム佐川推進課長職員が地域に入って積極的に参加し、深くかわつていくことは大変重要だ。意識改革とともに多くの参加を求めていきたい。



牧野公園整備 今後の広がりとは？

チーム佐川推進課長 **参加の機会を増やす**

この事業は地道な住民参加型の公園整備である。今はボランティアの参加が少ない。限られた予算内では今後の管理も心配される。小さな山野草等は十分定着しない時期に手を抜くと後戻りする。今後どのように発展させていくのか。片岡チーム佐川推進課長植物関係のイベントや学校行事を通して、参加のきっかけができるよう関係機関と調整する。植物に触れる、育てる機会を増やして参加の増加を促していく。予算も必要となれば考えていきたい。



山野草が植えられた牧野公園

勝森山の土砂崩れ 町民への説明は

町長 **要望あれば説明会開催**



今も残る土石流のつめあと

勝森山の土砂崩れについては、住民はもちろん町、県、国の施策とも多岐に関わっている問題である。現地調査等、再発防止のための取り組みをしていると思うが、町民にはどのような方法で説明するのか。堀見町長 要望があれば、地元の皆さんへの説明会を須崎鉱発にもお願いして開催する。



下川 芳樹 議員

災害、拾い抜かりや 職員の関わり方は

産業建設課長 2人で確認し、可能な限り対応

災害に関する拾い抜かりや、職員の関わりが弱くなっているとの声を地域から聞く。地元からの被災報告に基づく被災件数、査定件数、町単独により実施する件数はどうなっているか。

また、職員が関わっている状況はどうか。

渡辺産業建設課長 公共土木、農業関係合せて122件の被災情報を2人1組で確認し、国へ査定申請したものが50件である。残り72件の申請できない小災害については、町単独工事で37件がすでに完了し、19件が工事中、残り16件も発注するよう取り組んでいる。

職員の関わりは担当職員を決め、被災場所の確認から査定、実施設計、工事中は監督職員として可能な限り対応している。



確認作業が進む被災現場

地方創生法に関する 具体的な考えは

町長 全知全能をかけて取り組む

国が定めた地方創生法の成立に伴う町長の考え方と、まち・ひと・しごと創生に関する具体的な目標や施策について聞く。

み、結婚、出産、子育てに対し財政的・人的支援を行う。

掘見町長 地方創生法はすごいチャンスであり全知全能をかけて取り組みたい。

ひと創生では、ものづくり教育、職業教育、ふるさと教育を行い、創業と雇用の創出にチャレンジしたい。

まち創生では、行政と住民が協働で行っている町づくりを行う。小さな拠点の整備に取り組む。

しごと創生では、自伐型林業を核として考え、木材を活用したもののづくりを起業のチャンスとして仕事をつくっていききたい。

健康福祉課の 機構改革検討したか

町長 機構改革考える

担当課内や町長を含めた関連部署で検討したか。

掘見町長 福祉業務が拡大する中で来年度から保健師2名を採用することとした。機構改革については、1〜3年の内には大きな機構改革も含めて手を打つべきだろうと考えている。

岡崎健康福祉課長 課内でも係長以上の幹部職員で3回程度話をしていく。機構改革と併せて課内の係の体制など、見直しを考えている。

■その他の質問 佐川町の土産物開発について

3月定例会の質問で、健康福祉課の機構改革は今後の課題として取り組んでいくとのことであった。



年々業務が拡大する健康福祉課



中村 卓司 議員



日高、越知の類似施設

道の駅事業 どうする？

町長 検討していく

道の駅事業は、平成23年1月に初めての設置検討会が開かれ、平成24年3月には高知工科大から構想素案が提出された。その後、検討会が行われてない。地域の活性化や町おこしに大きな役目を果たすと考える。町長の道の駅に対する思いを聞く。

道の駅の拠点整備という

地域の公共交通 町の考えは

町長 多くの方が満足する形で

今後の公共交通を考える中で、町は住民アンケートを実施している。少子高齢化の時代、高齢者や不自由な方の通院や買い物、また子供たちの通学にも影響を与えると思う。町の考え方を聞く。

堀見町長 住民の皆さんの声を聞き、現状を把握する。地域公共交通会議を立ち上げ、検討委員の皆さんから意見を聞く。さまざま意見をとータルに照らし合わせ、より多くの方が満足できる形で町の地域公共交通のあり方を模索していきたい。



みんなで考えよう！地域の交通



邑田 昌平 議員

ふるさと納税に対する町の基本的スタンスは

町長 積極的に活用する



ふるさと納税のお礼の品は、寄附金額から贈答品代を引いて送っているのではなく、税金で買った送料を入れて送っている。そうすると税収が減るのではないか。
田村税務課長 ふるさと納税のデメリットということになるが、佐川町の方が、ふるさと納税することにより、個人の町民税額は、寄附を行った翌年に控除される。
堀見町長 佐川町としては寄附のほうに圧倒的に多く、今後も制度があり続ける限りは努力し、ふるさと納税の制度を積極的に活用して取り組んでいきたい。



ファイティングドッグス球団を活用した地域活性化対策を

町長 前向きに考えたい



地域で交流する選手たち

ファイティングドッグスが、佐川、越知をホームタウンとし、佐川は宿舍、越知はグラウンド整備を分担している。
佐川では若い選手が来るので町が活性化すると言われたが、最近では町民の関心が少なくなっている。地域活性化の効果はあるか。
片岡チーム佐川推進課長
ファイティングドッグスの地域活性化貢献は、少年野球教室の技術向上の促進を狙う活動や、農業活動にも取り組んでいる。
堀見町長 佐川町の活性化の中で、スポーツ振興や健康増進の分野でも何か接点をつけないか、前向きに考えてみたいと思っている。

ペットの飼い主責任及び住民間のトラブルに対する行政指導について

総務課長 指導を行っている

ペットの飼い主として、ふんの処理などルールやマナーは守られているか。苦情はないか。また町営住宅での状況はどうか。
麻田町民課長 飼い犬の件については、町の条例がある。飼い猫についても、迷惑をかけないよう飼わなければならないという条例が制定されている。
横山総務課長 苦情の情報があれば訪問をして指導を行っている。町営住宅では、ペットの飼育は原則禁止されている。



ルールを守って、ペットを飼おう！

広報委員会研修報告

広報委員は10月21・22日東京で開催された第81回町村議会広報研修会に参加した。全国の町村議会から700人近い参加者があり、講師陣もトップクラスで内容の濃い研修であった。

「伝える広報」から「伝わる広報」にするために、漢字が少ない短く読みやすい文章にすること、図表やイラストを入

れること等、見やすく分りやすい紙面作りへの手法を学んだ。広報紙面のデザインの基本知識についてはレイアウトを中心に講義を受けた。さらに、プロの写真家から写真の撮り方を学び参考になった。

2日目は各町村の広報のクリニックが行われた。本町の広報については、基本的には写真を多

く使った紙面、わかりやすい見出しや短い文章での構成は高い評価を受けた。しかし、文字の大小や濃淡、レイアウトの一部等、紙面改善の参考となる指摘を受けた。この研修を受け、さらに充実した広報作成に努め、「伝わる広報」作りに頑張っていくたい。



勝森山 視察報告



採掘進む 勝森山鉱山の現状

佐川町議会は、12月10日に、台風災害の現地確認のため勝森鉱山の視察調査を行った。

現地では、宮下社長から、勝森鉱山の概要や今回の台風によって発生した災害についての状況報告があり、それに伴う調整池の増設等の対策についても説明があった。

議会としても今後災害が起きぬよう注視していきたい。

崩壊の原因

通常であれば、山の削面に自然浸透して山の低い位置に抜けていた水が、今回の記録的大雨により地下水位が上昇し、掘削面の下部から水が噴き出し、それに引きずられ周りが崩れていき土石流となった。

対策

大雨時において、掘削面部分での水の調整ができるような調整池の増設や、掘削面の勾配もできるだけ南側で水が浸透するような計画とする。

あれはどうなったが？



荷稻、小富士団地

町有住宅地の販売促進対策を講じるべき

(平成25年3月定例会)

町有住宅地の荷稻、小富士団地について、補助金制度や販売価格の見直し等、さまざまな販売促進対策を検討していくべきだ。

(森 正彦議員)

〈関連質問〉片岡議員

総務課長 答 弁

新価格で販売開始

当初の販売価格に、現在の土地価格の下落率を乗じて価格設定を行い、平成26年12月から新価格での販売を開始した。

どう
なった

総合的に検討する

若者定住補助金の増額、移住促進補助の導入等、総合的に踏まえたうえで価格の再設定を検討し販売促進に努めた。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は3月6日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

編集後記

異常気象、災害列島とか言われる日本で、平成26年に発生した台風と豪雨、土砂災害、噴火などで多くの人命と財産がうばわれた。我が町では災害で、人命に被害のなかったのは何より有難かったと感謝して新年を迎えた。

今回の編集も5人の委員と事務局とで、議員から出された質問と答弁をいかに的確に伝えるかで頭を悩ませた。しかし貴重な勉強の場を頂いていると認識している。

みなさんは車を取得するときデザイン、性能はもちろんであるが車体色も好みで選んでいると思われる。今回その色を問題にしたい。

雨、曇り、夕方、早朝、山間部等の時、暗い色は目立たないので対向車から見て確認しづらい。白に近い色なら膨張色で見えやすい。

私の場合、ある事情から濃紺のメタリックに乗ることとなったが、あえて乳白色に塗り替えた。それで安全とは考えていないが事故防止につながっていると自負している。

片岡勝一

議会広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 森 正彦 |
| 副委員長 | 片岡 勝一 |
| 委員 | 邑田 昌平 |
| 委員 | 坂本 玲子 |
| 委員 | 下川 芳樹 |

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

若い力

あつたかふれあいセンターとかの

— あつたかふれあいセンターは何をするところですか。

森田チーフ 簡単に言えば、地域福祉の拠点です。

お年寄りから子供までの集いや、一人暮らしの方への訪問・困り事の相談等で制度の手前の部分を担っています。

— もっと具体的には。

森田チーフ 喫茶の日、自由に過ごす日、健康づくりの百歳体操や3B体操、地域の人を講師とした手芸や料理教室とかいろいろしています。
カレーを作って食べる日は30人以上になります。満席ですよ。アハハ



ただ今 訪問中！

— 開所して約一年ですが、事業の手応えはどうですか。

坂本さん 地域では初めての事業でどうなるか心配でしたが、思った以上に多くの皆さんが利用してくださり、しかも「楽しい」「ありがとう」と言ってくれます。私も楽しいです。

— 手芸はどんなものもやっていますか。

永島さん 革のブレスレットとか、糸つむぎとか、これは60歳代の女性が多いですね。

— 男性の利用者も多いとか。

3人 そーなんです。アッ、3人ハモッちゃいましたね。アハハハハうちは男性が多いと言われまして視察もきました。どうしてだと思います。

— それはスタッフの魅力ですよ！
今後してみたいことは。

森田チーフ まだまだこの活動を知らない方が大勢いますので、もっと知ってもらえるようにしたいですね。そして利用が広がっていけば、さまざまな効果が表れてくると思います。

頑張ってくださいと言ったら、また3人で「ハイ！」、本当に明るいスタッフの皆さんでした。ありがとうございます。
“あつたかふれあいセンターとかの”の活躍を期待しています。



きれいな作品できました



坂本さん、森田さん、永島さん



たのしい集い